

備前市事務事業評価シート

(平成25年度事業)

事業の概要		根拠法令・例規等	備前市営バス運行事業に関する条例
事業開始年度	昭和61年度		
総合計画	大項目 基本目標	05	生活環境対策「快適・活力」
	中項目 基本施策	08	快適な生活が送れるまち
	小項目 施策	36	公共交通の確保
事務事業名	02	市営バス運行事業	
問	担当課(室)	まち営業課	
合	職・氏名	定住推進係 久保山 仁也	
先	電話	0869-64-2225	
	このシート作成に要した時間	2.0 時間	

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	交通弱者(学生、高齢者、マイカーを持たない人)、吉永和意谷・三国地域の沿線地域住民	
目的(何のために)	通学・通院・買物等のために移動する手段の確保	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	生活交通手段を確保し、市民に利用してもらう。	

事業の実績		事業の説明	優先度
目的を達成するため実施した事業	細事業名	市営バス運行事業	◎
	事業の説明	和意谷線(16.0Km)と三国東西線(13.2Km)市の所有するバスで運行している。運転業務を日生運輸㈱に委託し、運行に係る維持経費は市が負担している。スクール利用者の運賃は無料。(三国東西線の運行経費は教育委員会で費用負担)	

事業費等	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
事業費	千円	2,140	2,293	2,457
必要人員	人	0.07人	0.09人	0.04人
事業費	千円	2,879	3,247	2,879
国庫支出金	千円			
受益者負担		78	69	87
繰入金	千円			
市債	千円			
その他()	千円			
一般財源		2,801	3,178	2,792
受益者負担比率	%	2.7%	2.1%	3.0%

結果指標	結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
運行系統	運行系統数	系統	1	1	1
	対前年比	%	100.0%	100.0%	100.0%
	活動コスト	円	2,879,000	3,247,000	2,879,000
	単位当たりコスト	円	2,879,000	3,247,000	2,879,000

事業の成果		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
年間利用者数(和意谷線)	目標値(A)		600	600	500	500
	実績値(B)		274	226	326	到達目標値
	達成率(B/A)		45.67%	37.67%	65.20%	500
成果指標設定の考え方・式や説明						
サービスを利用した年間延べ人数(和意谷線)						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input checked="" type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い ー B
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託合)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い ー D
有効性の評価	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い ー D	

進行年度(H26年度)の改革改善内容															
状況	<table border="1"> <tr> <th>拡充</th> <th>現状継続</th> <th>見直し</th> <th>縮小</th> <th>整理統合</th> <th>休止</th> <th>廃止・完了</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了			○				
拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了									
		○													
説明	当該路線の利用者は限られており、平成22年度からスクール利用者がいなくなったため、火曜日と金曜日のみ1日往復2便として減便し運行している。地域公共交通計画にもとづき効率的、効果的かつ持続可能な公共交通システム構築を目指す。														

総合評価		総合評価
この路線は、交通弱者にとって必要な交通手段であるが、利用対象者は限定されている状況である。平成22年度の減便による運行改革により経費削減を行うことができたが、依然として効率性は低い。市民、事業者と共に新たな交通のしくみを考えていく必要がある。		総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い ー C

平成27年度の方向性・取組目標															
方向性	<table border="1"> <tr> <th>拡充</th> <th>現状継続</th> <th>見直し</th> <th>縮小</th> <th>整理統合</th> <th>休止</th> <th>廃止・完了</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了			○				
拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了									
		○													
取組目標	平成25年度に策定した備前市地域公共交通計画(改訂版)にもとづき、必要となる生活交通の具体計画を作成し、持続可能な公共交通システム構築を目指す。														

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな

Check

Action